



元気企業訪問

尼崎重機(株)

尼崎市



社長
西尾 久

海外展開支援助成金を
活用して

- 販路開拓に向け渡米できた
- 市場調査を行い手応えをつかめた
- 越境ECサイトを開設できた



プロボを装着した日本キャタピラー社の油圧ショベル

大手建機メーカーが認めた技術力を武器に 「AMAJYU」ブランドの米国進出を目指す

修理工場から建機製造業へ

同社は、油圧ショベルのアームやアームの先端に付けるアタッチメントの設計・製造と、建設機械修理の2本柱で事業を展開。看板商品であるアームの「プロボ」と「アナトラ」は日本キャタピラー社に納品し、純正カスタム品として扱われています。

「現場環境によっては、建機メーカーの純正品では作業しづらい時があります。そこをフォローするのが当社の商品です」と西尾久社長。プロボは長さが異なるS・M・Lの3タイプがあり、Sは地下やトンネル等の狭小空間での掘削に、Lは高い建造物の解体に適しています。

1962年、初代社長の山本節男さんが各種機械整備で培った技術を生かし、建機修理業で創業。顧客から寄せられる建機の問題点等の相談に応えるうち、商品開発力が蓄積されていきました。長男で前会長の新太郎さんは、ものづくり企業としての発展を目指し、2003年に建機メーカーの設計部門にいた西尾社長を招へいしました。

05年、同社が初めて一般製品として開発した切断カッターアタッチメントが、日本キャタピラー社の目に留まったことをきっかけに、専用品を受注するようになり

ました。

助成金を活用し米国で販路調査

堅調な業績を背景に、西尾社長は事業拡大の一歩として「AMAJYU」ブランドの米国進出を画策しました。「米国では小回りが利く建機が製造されていないので、現地のメーカー・レンタル会社と代理店契約を結べないかと考えました」。2022年、海外での販路開拓に関する公的支援を探す中、ひょうご海外ビジネスセンターの海外展開支援助成金を知りました。「渡航費や滞在費に加え、通訳費も助成してもらえて心強かったです」

同年は13社、翌23年は17社を訪問。24年はテキサス州で計画されている日本式新幹線の建設に向けた販路開拓調査を行いました。商談の席では一様に「なぜ、日本ではこんなに小さな機械を使うのか」と聞かれたといいます。「地下やトンネルでも使えるものだと説明しました。広大な米国でも、都市部に駅を新設するなら、地下に造ることになるのではないかと踏んでいます」。25年は助成金を活用し、越境ECサイトを開設。シリンダーカバー・ミニショベル用のキャビンプロテクターといった安価な樹脂製品の販売からスタートする予定です。

制度利用の流れ

2022年4月

ひょうご海外ビジネスセンターに助成金を申請

6月

「現地渡航調査」で採択される

10月

米国で販路開拓調査を実施

12月

助成金報告書を提出

※23年度も「現地渡航調査」で利用。24年度は「海外新展開(現地渡航調査)」、25年度は「越境EC」で利用



現地企業から歓迎を受けました



米国では100tクラスの大型機が一般的です

西尾社長は3度の渡米経験から「米国人とのビジネスは難しくない」という印象を抱いたといいます。「訪問先では歓待され、日本人のことを信頼している様子が伝わってきました。PRの仕方次第で商談に発展する手応えをつかめました」。壮大な挑戦はこれからも続きます。

尼崎重機株

尼崎市西昆陽4-1-28 T 06-6431-2210

●代表取締役社長／西尾久

●事業内容／建設機械の研究開発、製造・販売など

H <https://www.amajyu.co.jp>

海外展開支援助成金

県内中小企業等の海外渡航や越境ECなどを伴う海外ビジネス展開の取り組みに対し、費用の一部を助成します。

【対象者】県内の中小企業など

【対象事業】海外見本市出展や現地商談等による販路拡大、営業拠点や製造拠点、生産委託先等に係る現地調査、海外新展開に係る現地調査、越境ECモール出店や越境ECサイト開設による販路開拓

【助成率】対象経費の1/2以内

【助成額】上限100万円(越境ECは同50万円)

利用メリット

- 国、県、市が一体となるワンストップ支援窓口として、助成事業に対しきめ細かにアドバイスし、その効果的な実施をサポートします
- 現地情報の収集等において、世界8カ国10カ所に設置する「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」や兵庫県が設置する海外事務所も活用できます

ひょうご海外ビジネスセンター

T 078-271-8402

制度の詳細についてはホームページをご覧ください



だけ
あなたの本を
「オーダーメイド」

まずは電話かメールでお問い合わせください
TEL. 078-362-7140
✉ jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

自費出版
見積り無料

神戸新聞総合出版センター
株式会社 神戸新聞総合印刷
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

<https://kobe-selfpub.jp>
KOBE自費出版web
こちらから